

( 60 )分間

試験

平成 21 年 2 月 12 日 実施

科 目	講師名	学 年	学籍番号	氏 名	評 点
国際看護学	高木 廣文	2			

## 1 . 国際看護学の定義を述べよ。(10)

国際看護学とは、国や地域、民族間の保健医療・健康・看護の格差（差異 contrast）是正と、多様な文化・価値観の共存とを究極の目的として、一国の看護職者や医療従事者だけでは解決できない看護や保健上の問題、および世界共通の看護問題に取り組む学問である。

## 2 . 以下の略語の正式名称について、表の空欄にあてはまる語句を書きなさい。(20 : 2点×10)

略語	日 本 語	英 語
ORS	経口補水塩	
MDGs	ミレニアム開発目標	
JICA		Japan International Cooperation Agency
UNFPA		United Nations Population Fund
MMR	妊産婦死亡率	
ICD		International Classification of Diseases
FGM		Female Genital Mutilation
ODA	政府開発援助	
TCM	中医学	
AIDS		Acquired Immune Deficiency Syndrome

Oral Rehydration Salt

---

Millennium Development Goals

---

国際協力機構

---

国連人口基金

---

Maternal Mortality ratio

---

国際疾病分類

---

女性性器切除

---

Official Development Assistance

---

Traditional Chinese Medicine

---

後天性免疫不全症候群

---

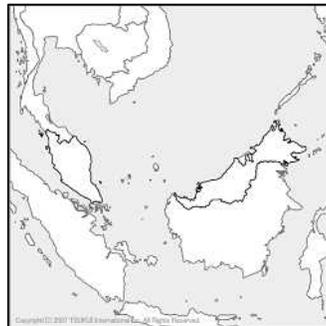
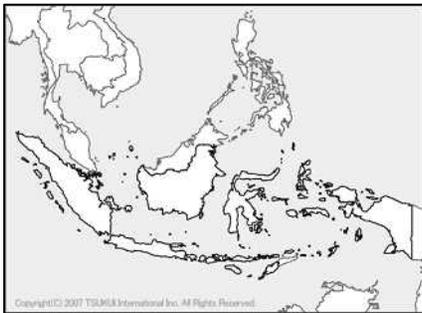
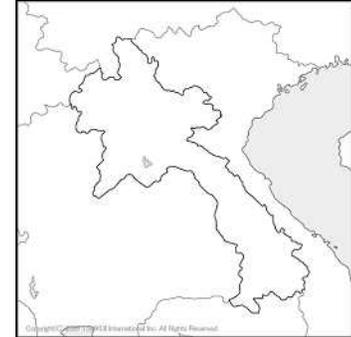
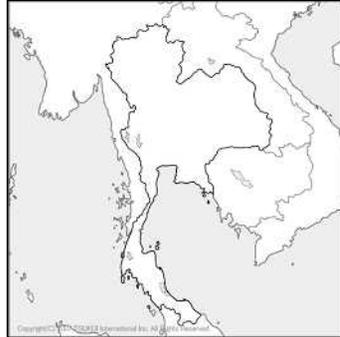
( 60 )分間

試験

平成 21 年 2 月 12 日 実施

科 目	講師名	学 年	学籍番号	氏 名	評 点
国際看護学	高木 廣文	2			

3 . 経済連携協定に基づき、日本に看護師受け入れが決まっている国名とその地図番号を解答しなさい。(20)



地図出典 <http://www.sekaichizu.jp/>

国名 インドネシア共和国 地図番号                     

国名 フィリピン共和国 地図番号                      国名は順不同

4 . 以下の異文化看護理論に関する文章について、空欄にあてはまる語句を書きなさい。(20 : 2 点 × 10)

「文化ケア理論」

異なる( )と( )をもつ人々にケアを行う意味と方法を発見するために開発されたもの。援助を受ける人々に見合った、もしくは適した看護ケアを提供できるよう看護師を導くために設計された理論

今日の急速に発展する( )世界にあって、看護師が、多様な( )や信念、および看護・健康・ケアリング・ウェルネス・病気・死・障害についてのさまざまな考え方もつ人々を相手に効果的に働き、機能するためには、多様な( )を理解する事が不可欠である

「文化を考慮した看護ケア」

有意義で有益で満足感をもたらすようなヘルスケアまたは安寧のためのサービスを提供もしくは支持するために、個人、集団、組織の( ) ( ) ( ) に合わせて行われる( ) かつ( ) で、能力を与えるような行為または意思決定

                                                                                     
                                                                                     
                                                                                    と、 と と、 と は順不同

( 60 )分間

試験

平成 21 年 2 月 12 日 実施

科 目	講師名	学 年	学籍番号	氏 名	評 点
国際看護学	高木 廣文	2			

## 5 . ミレニアム開発目標を 8 項目あげ、特に保健医療分野に関連する項目について説明せよ。(30)

(1990年代は第二次世界大戦より続いた東西対立の構図がくずれ、地球規模のグローバルな課題が噴出した時代であった。環境問題や女性と開発など国際会議で議論されたトピックが、短期間で国連機関 や各国政府の基本方針に組み込まれていった。とくに、環境、人権、リプロダクティブヘルス・ライツ、HIV/AIDS、開発と貧困などが、地球規模での健康問題と深く関連し、狭義の保健医療分野の専門家だけでは対処できないことが認識された) (この部分は、なくてもよい)

2000年9月に国連ミレニアム宣言として、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッド・ガバナンスなどを課題して「ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)」が提唱された。これは、1990年代に多くの国際会議やサミットで提唱された開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめ、以下の8項目を掲げたものである。

- 1) 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2) 普遍的な基礎教育の達成
- 3) ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4) 乳幼児死亡率の削減
- 5) 妊産婦の健康改善
- 6) HIV/AIDS、マラリア、その他の疾患の蔓延防止
- 7) 環境の持続可能性の確保
- 8) 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進 (20点)

上記のMDGsは、健康問題が保健医療分野に限定されておらず、貧困、ジェンダー、教育、環境などの地球規模での課題と密接に関連し地球規模の広がりの中で議論されている。特に、保健医療分野と直接に関連している4)、5)、6)の項目は、具体的なターゲットが示されている。すなわち、2015年までに国連加盟国が達成する目標として、

5歳未満児の死亡率を2/3減少させる。

妊産婦の死亡率を3/4減少させる。

HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる。

マラリアおよびその他の主要な疾病の発生を阻止し、その後罹患率を下げる。

がある。(10点)